

常念通り

白板地区公民館
館報編集委員会
☎(35) 7740

岳都講座 ウェストンと上高地 乗鞍畳平自然観察会

7月31日(月)、岳都講座の受講者を含む参加者21人で、乗鞍岳畳平で自然観察会が開催されました。

2600m肩の小屋口付近で、高度順心を行い、御前橋・白花巴塩竈・兎菊・黒雲草・信濃弟切草等を観察した後畳平へ移動。
畳平では、お花畑の観察会。黒百合は一部花柄を残すのみでした。光沢のある葉に黄色の花が咲いていた深山大根草を観ることができました。



地中深く根を張るコマクサ「駒草」と牧野富太郎博士が命名



気温17度 2702mの畳平で集合写真

そこから、富士見岳の麓に移動。岩桔梗・千島桔梗の違いを観察でき、砂礫地に根を1m位地中に張る駒草の群生を見ることができました。
また、「駒草」の命名が牧野富太郎博士だと知ることでも感動しました。
また、鶴ヶ池の近くでは、お花畑では咲き終わって黒い実しかなかった白山一花の花を観ることができました。
真つ白の部分は花弁ではなく「萼片」だということも知ることができ良かったです。
天候にもめぐまれ、いい観察日和になりました。

乗鞍畳平自然観察会

8月23日(水)、参加者21人で、乗鞍岳畳平で自然観察会が開催されました。

肩の小屋口付近で高度順心の為、30分程度の観察をしました。大雪渓があまりにも小さくなっていてびっくりしました。白い花の当薬竜胆が咲いていました。日本三大生薬の一つである「センブリ」の生薬名を当薬といい、この竜胆の根が胃腸薬で使われるので「当薬竜胆」の名前が付いたそうです。
畳平は13度で寒く、霧が巻いていて、霧雨が時々混じる

白馬五竜高山植物園散策

7月27日(木)、福祉ひろば事業で参加者は、23人(内子供3人)でした。

白馬五竜ゴンドラに乘車して、10分ほどで山頂の植物園に到着です。散策は自由行動だったので、昼食時間まで顔を合わせない人もいました。

今年の異常気象のため、目玉として知られている「ヒマラヤの青いケシ」は最盛期ではありませんが何とか見ることができました。コマクサはほとんど終わっていて残念で



全体の説明 この後各自散策



霧の中で散策



ヒマラヤの青いケシ



白い花に緑色の斑点
トウヤクリンドウ



紫色の花
オヤマノリンドウ

した。今真つ盛りの花はシモツケソウとヤナギランで鮮やかに咲き誇っていて素晴らしかったです。レストランに集

合してゲレンデを見ながら昼食をとり、その後は道の駅でお買い物をし、帰路につきました。

中、自然観察を行いました。この時期は当薬竜胆が花盛りで鶴ヶ池周辺の散策路の両脇にありました。このような天候でしたので花は開いていませんでした。
また、紫色の御山野竜胆も

咲いていました。駒草は花の時期が終わっていました。
天候のいい時にこれだけの当薬竜胆の咲き誇る様子を見たいと思いました。

自治の鐘 丸ノ内中学校

30

「平和の鐘」

松本市では、「松本市平和都市宣言（昭和61年9月25日）」の願いを踏まえ、これからの未来を担う子どもたちが原子爆弾による被害地広島を訪れ、広島平和記念式典への参列を始め、被爆体験者の講話や平和記念資料館等の見学を通して、ヒロシマで起きた事実を学び、知り、考え、平和の大切さを肌で感じてもらう場として平成3年から「広島平和記念式典参加事業」を開催しており、今年で33回目を迎えます。丸ノ内中学校からは、2年3組の村松陽佳さんが参加しました。村松さんの学びを、以下の2学期始業式での発表より一部抜粋して掲載します。



8月5日、

7日にかけて、私は広島平和記念式典参加事業に出席しました。特に、式典では二度と広島惨事を繰り返してはならないと世界に語る責任と覚悟を感じました。

78年前の8月6日。一つの原子爆弾が一瞬にして広島街の

幸福と日常を奪いました。瓦礫が重なり、人の消えた街の写真を見て、胸が痛み、原爆の恐ろしさを実感しました。また、人々が何年もかけて築いてきた建物や生活が一瞬で壊されたことに憤りを感じました。

私たちは一日目に被爆体験伝承者の方に話を伺いました。被爆し、大火傷を負った少女は看護をしてくれた方に「おばちゃん手を握らせて」といつて亡くなりました。私は、最期さえ家族に会うこともできず亡くなった少女の気持ちを思うととても切なくなりました。

広島でこのような惨事が起きたにも関わらず、この地球上で戦争や紛争は行われ続けています。しかし、一人一人が平和を望み、求め、語っていけば、未来はよい方向に変えられます。私たちにとっての一番の幸せは日々の生活を当たり前に送れることだと気づくことができれば、戦争も紛争もなくなるはず。私は将来、マスコミ関係の仕事に就きたいと思っています。そのような仕事に就くことができれば、今回の広島平和学習で得た平和への思いを発信していきます。

大人の工場見学in伊那路

8月8日(火) 大人の工場

見学に23人参加しました。「養命酒駒ヶ根工場」は敷地面積が東京ドーム8個分の斜面に建てられています。40年の伝統を守り14種類の生薬で改良しながらいくつもの機械を通り、大量に生産されます。機械のすごさに足を止め見入っていました。

試飲コーナーでは「昔より飲みやすくなったね」と言いながら堪能しました。昼食の明治亭では多くの方が伊那ソースカツ丼を注文し、ボリュームが半端じゃないと驚いていました。

サツマイモ畑 草取り

7/30

第3ブロック



朝8時から 大人26人 子ども12人で草取り

9/3

第4ブロック



朝8時から トンボがたくさん飛び交う畑で 大人11人 子ども2人で草取り 次回の収穫が楽しみ

「かんでんぱば工場」は粉末寒天の袋詰めをやっています。寒天は「トコロテン」から水分を取り除いて乾燥させたのが「粉寒天」だそうです。庭内を各自時間まで散策し楽しんでました。帰りに直売所で野菜やお花を買い暑さを忘れ楽しんだ講座でした。



まず養命酒に使われている14種類の生薬コーナーを見学後、製造ラインへ

「いきいき百歳体操」体験会

9月6日(水) 白板地区公民館大会議室で行われ、1回

目の参加者は15人でした。「ラジオ体操」から参加できる人は参加し、その後室内に入り体験会が始まりました。この「いきいき百歳体操」は、高知市発祥で、重りを使った筋力運動の体操です。椅子に腰かけて、準備運動筋力運動、整理体操の3つの運動を行うものです。

健康づくり課の方達の指導の下、手首や足首に400gの重りをつけて筋力運動をしました。

今回は9月の毎週水曜日、4回の体験会でしたが、誰でもやりやすい運動だったので、継続出来たらいいなと思いました。

